

医師と医師会を結ぶ情報紙

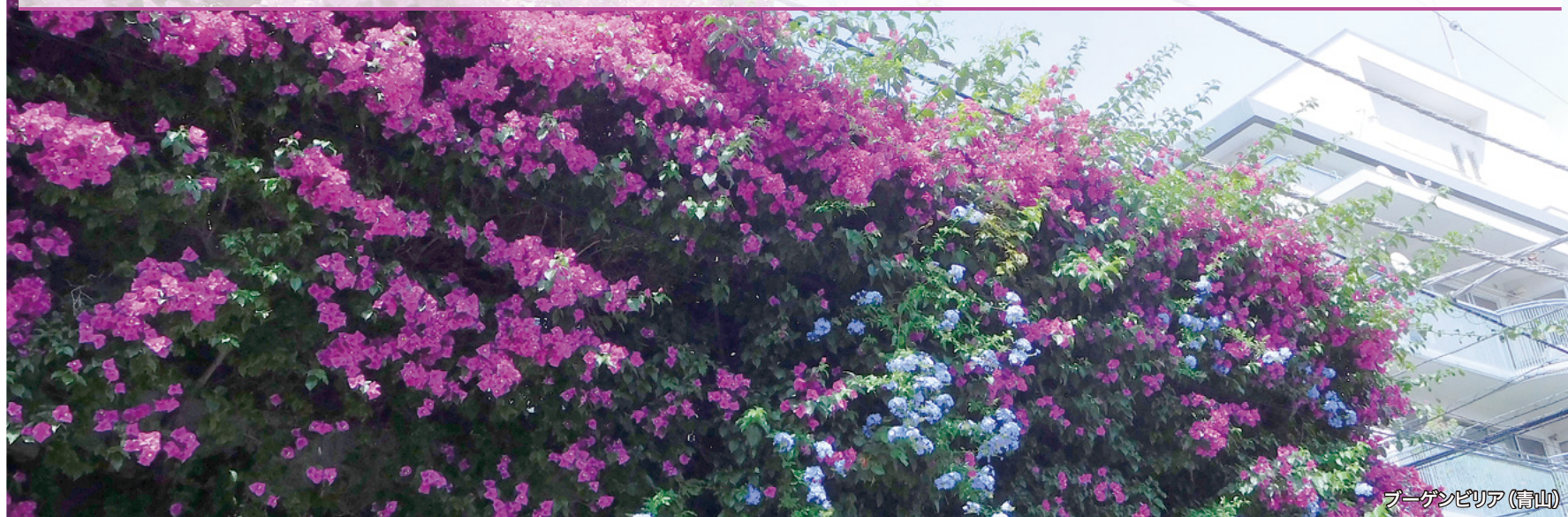
令和8年7月15日／毎月1回15日発行

都医NEWS

Vol.
725

2026年世界禁煙デーイベント	01
底流／地区医師会長連絡協議会報告 ほか	02
みどりの広場 ほか	03
ふれあいポスト	04
感染症豆知識 ほか	05
地区医師会長からの一言	06

発行所 ■ 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL. 03-3294-8821(代) 定価 ■ 1部77円



ブーゲンビリア (青山)

撮影：大畑隆郎 (板橋区医師会)

2026年世界禁煙デーイベント

～東京の空気が一番、
おいしくなる日 2026～



世界禁煙デーポスター

5月31日(日)、東京都医師会館において「2026年世界禁煙デーイベント」が会場とWEBのハイブリッド形式で開催された。この日は世界保健機関(WHO)が定める世界禁煙デーにあたり、更にその日からの1週間(5月31日～6月6日)を厚生労働省は禁煙週間に定めている。東京都医師会ではその普及・啓発活動の一環として、世界禁煙デーイベントを全国健康保険協会東京支部との共催で行った。



柴田支部長

また東京都では、東京スカイツリー、東京都庁第一本庁舎など、講演1では、東京都保健医療局保健政策部の池川司健康推進事業調整担当課長より「喫煙の健康影響防止等に関する東京都の取組について」の講演があった。講演2では、中央内科クリニックの村松弘康院長より「平穏な生活を送るために～ご家族を守るための卒煙～」の講演があり、加熱式タバコでも健康被害があることが強調された。更に講演3では、全国健康保険協会東京支部の町田恵子保健部長より「中小企業における喫煙の現状及び対策について」(全国健康保険協会



尾崎会長

5月31日(日)、東京都医師会館において「2026年世界禁煙デーイベント」が会場とWEBのハイブリッド形式で開催された。この日は世界保健機関(WHO)が定める世界禁煙デーにあたり、更にその日からの1週間(5月31日～6月6日)を厚生労働省は禁煙週間に定めている。東京都医師会ではその普及・啓発活動の一環として、世界禁煙デーイベントを全国健康保険協会東京支部との共催で行った。

禁煙・受動喫煙防止の普及・啓発に向けて



会場の様子



「Clean Tokyo」バッジ

データーより」として講演があった。講演4では、日の丸交通株式会社の生盛知子顧問より「健康なくして安全なし」タバコを止められない社員に寄り添う」という演題で、社長自らが率先して取り組む会社における具体的な禁煙活動の現状の講演があった。最後に、本会タバコ対策委員会の池上晴彦委員長より閉会の挨拶が行われた。いずれも最新の情報に基づく大変有意義な講演であり、本イベントが禁煙および受動喫煙防止の普及・啓発に寄与することが期待される。

底流

2026年の
麻しん流行を考える

今こそ、行政とより一層連携を深め、
感染症を食い止める流れを医師会員と共に

2026年に入り、麻しんが猛威を振るっている。特に都内では過去10年で最多の流行となっている。年初は海外からの持ち込みに端を発し、3月には飲食店、4月には小学校での集団感染が報告され、改めて麻しんの感染力の脅威を身に沁みて感じている。同時に、麻しん感染に関しては、予防接種での予防が非常に重要であり、昨今のMRワクチン接種率の低下に強い懸念を抱いている。

そもそも、「麻しん」はワクチンを接種することで集団免疫を獲得し、公衆衛生上撲滅できるウイルス感染症として、WHOは排除に向けて力を注いできた。日本も2015年にはWHOより麻しんの排除状態の認定を受け、土着株の麻しんウイルスを封じ込めてきた。しかしながら、排除状態を堅持するには予防接種率を95%以上に維持しなければならぬが、昨今第1期（1歳）および第2期（小学校入学前1年間）の接種率はそれを下回っている状況である。

今年の流行を契機に、東京都および東京商工会議所、東京都医師会の合同でワクチン接種の重要性を含んだ啓発動画を作成し、広く周知をお願いした。新宿バスポートセンター（都庁内）でも放映を行っている。また、接種率の向上に寄与するフライヤーを東京小児科医会が作成したことについて、地区医師会へ周知した。効果判定には時間を要するが、東京都医師会は少しでも都民を守る施策をスピーディーに行っていきたいと考えている。

一方で、麻しんが排除状態となった今、医療従事者にも麻しんを診断、診察をしたことがないという医師が多い。医学書でしか麻しんの発疹を見たことがないため、診断が遅れる理由の1つに挙げられている。輸入感染症が世界中から国内に入ってくる現状では、常に世界の感染症の状況を考慮しながら診察する必要がある。

5月2日、南大西洋上のクルーズ船内で確認されたハンタウイルスによる集団感染の報告があった。5月17日にはコンゴ民主共和国とウガンダで感染拡大のエボラ出血熱について、WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当すると言言した。遠い国の話ではなく、まさに容易に輸入感染症になりうることを肝に銘じ、行政や関係機関とも密に連携を取りながら、感染拡大の防止に全力を注いでいきたい。医師会員の皆様においても、正しく恐れ、正しく予防し、正しく啓発していただくことをお願いしたい。（首里京子）

地区医師会長
連絡協議会報告

令和8年6月19日（金）

◎都医からの伝達事項

（1）東京都産業企業医師会（仮称）について

地区医師会に回答いただいたアンケートの結果を報告した。また、東京科学大学医学部臨床教授の加藤浩晃氏に本構想の概要を説明いただいた。

（2）令和8年度麻しん含有ワクチン緊急接種事業について

保健所の要請に基づき、MRワクチンの緊急接種を実施する医療機関を拡大するにあたり、協力いただける医療機関を各地区医師会（千代田区、国分寺市）から2施設程度、推薦いただきたい。東京都保健医療局から本事業の概要を説明いただいた。

（3）「令和8年度 生活習慣病講習会」の開催について

本講習会を7月4日（土）午後3時よりハイブリッド形式にて開催する。先生方をはじめ、医療従事者の方々に参加いただきたい。周知をお願いした。

（4）救急相談センター一時移転計画について（第2報）

地区医師会から派遣いただいた

（5）「在宅療養体制支援医療機関緊急整備事業」および「区市町村在宅療養推進事業」について

東京都では「在宅療養において積極的役割を担う医療機関」を対象に、地域の在宅療養体制の構築促進を目的とした「在宅療養体制支援医療機関緊急整備事業」を令和8年度より新たに実施する。また、「東京都在宅医療推進強化事業」については、令和8年度

◎地区医師会からの報告

（1）中央ブロック

①港区医師会と港区との基本協定の締結について（港区医師会）

（2）城東ブロック

①1か月児健康診査および産婦健康診査について（葛飾区医師会）

（3）城西ブロック

④城南ブロック

（5）城北ブロック

①第28回板橋区医師会医学会誌について（板橋区医師会）

（6）多摩ブロック

①八王子市医師会災害時マニュアルの改訂について（八王子市医師会）

（7）大学ブロック

知っていますか？

ネフィー

世界初の“注射を使わない”アドレナリン点鼻薬で、アナフィラキシー発現時に鼻から迅速投与できる新しい治療手段。体重30kg未満は1mg、30kg以上は2mgを鼻腔内に投与し、血中濃度は注射製剤と同等。痛みがなく操作も簡便で、エピペンの代替・補助として期待される。使用後は必ず医療機関を受診する必要がある。

◎出席者による意見交換
◎その他

①第163回日本医師会臨時

代議員会における代表質問について

東京都医師会「医学研究賞」「グループ医学賞」募集

東京都医師会では「東京都医師会医学研究賞」「東京都医師会グループ医学賞」を設けております。令和8年度も募集を行いますので、所属の地区医師会へ要綱等をご確認のうえご応募ください。

■医学研究賞

表 彰：医学研究賞・若干名（助成費各100万円）、奨励賞・若干名（助成費各30万円）
＊研究賞以外の優秀な原著論文を発表した筆頭著者に対し奨励賞を贈る
＊臨床医学（社会医学を含む）分野および基礎医学（臨床への貢献が期待されるもの）分野の応募数を勘案して選出する

応募資格：東京都医師会員であること。＊令和3年度から令和7年度の本賞受賞者を除く

対 象：臨床医学（社会医学を含む）、基礎医学（臨床への貢献が期待されるもの）の分野において優れた原著論文を発表した筆頭著者、またはequally contributed author（複数筆頭著者）。原著論文は令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）発行の学術雑誌に発表されたもの。
＊1人につき1論文とする ＊発表年月は冊子体のものを適用とするが、オンライン掲載のみ場合はこの限りではない ＊応募者は共著者の承諾を得ること ＊同一研究によるグループ医学賞との重複応募は不可とする

応募方法：候補者調書に原著論文一篇を添付のうえ、所属地区医師会経由で提出する。

■グループ医学賞

表 彰：1～2グループ（助成費各100万円）

応募資格：東京都医師会員が所属するグループ。但し、代表者は本会会員であること。
＊令和3年度から令和7年度の本賞受賞グループを除く

対 象：地域において臨床・社会医学の研究あるいは医療の実践に優れた業績をあげたグループ。
＊対象外 ①大学間のみでの共同研究 ②委託事業
＊同一研究による医学研究賞との重複応募は不可とする

応募方法：応募用紙にグループ研究・社会医学活動の内容を証明し得る資料を添付のうえ、代表者の所属地区医師会経由で提出する。

◎表彰式・執筆等

両賞受賞者には、表彰式において表彰するとともに、東京都医師会雑誌に受賞内容の概要をご執筆いただきます。

◎受付期間 令和8年9月1日（火）～9月30日（水）（東京都医師会必着）

◎お問い合わせ先 東京都医師会 広報学術課 TEL：03-3294-8821（代）

都医ニュース2号(昭和36年2月発行)をお持ちの方は「一報ください」
東京都医師会広報学術課 03-3294-8821

219
みどりの
広場東京から見た、
十勝で果たす役割令和7年度東京都医師会
医学生懸賞論文プラタナス大賞 優秀賞受賞者
帝京大学医学部医学科6年

長南温郎



私は北海道十勝出身である。小豆や乳製品、広大な畑や牧場などで存じの方もいるかもしれない。そこには学校や小売店、医療機関までの距離、雪道の移動など、都市部とは全く異なる生活条件がある。厳しい自然条件の中で開拓し、日本の食料供給を支える産業を育ててきた背景には、自分たちの地域を自ら支えようとする気風がある。かつて「十勝モノロー主義」とも呼ばれた地域性は、限られた条件の中で地域を守ろうと

してきた自律の精神なのである。

進学を機に上京して5年が経った。東京はあらゆる選択肢に富んでおり、本場に魅力的な街である。将来のキャリアや生活、子育てまで見据えた時、都市圏に身を置くことには大きな安心感がある。幸いにも、私は良い指導環境に恵まれた。卒後は地元へ戻るつもりでいたが、臨床と研究の双方に取り組みながら専門性を深めていく都市部での医師生活に強い憧れを抱くよう

になった。

厚生労働省が実施した臨床研修修了者アンケート調査によると、県外出身者が「臨床研修修了後に卒業大学所在地での勤務を希望する」割合は、大都市部で半数を超える一方、地方では2割以下であることが示されている。地方出身者の立場から、若い医師が都市部に惹かれる理由をよく

分かる。

近年の政策資料からは、社会が地域医療の担い手を求める強いメッセージを感じる。

令和8年度診療報酬改定の基本方針では、病院の中で「治す」だけでなく、在宅医療や介護との連携を含めた「治し、支える医療」が重視されている。また、医師偏在対策では、外来医師が過度に集中する地域での新規開業に対し、地域で不足する医療機能への協力を求める旨が示されている。限られた医療資源を地域で必要とされる機能へどう結びつけるか、地方から出てきた私にとって、決して他人事ではない重要な課題として映った。

進路を考えるにあたり、自分がどの場所で最も力を発揮し、社会に貢献できるのかという「適材適所」の視点を保持しようになった。東京で活動する道には今も強く惹かれて

いる。一方で、東京ですべての学びを得た学びを、医療資源の限られた地域、そして生まれ育った地元へ還元することにも意味を感じている。

十勝という一地域から日本の地域医療にどのように向き合えるのか。地元を知る視点と、東京で得た学びをどうつなげられるのか。今回の寄稿を一つの契機として、その問いをこれからも考え続けていきたい。



福德神社 鳥居

福德神社

金運・当選に
ご利益ありと大人気

趣味の散歩

中央区日本橋エリアには19社の神社が存在します。日本橋エリアのシンボルといえる「日本橋」です。慶長8（1603）年、江戸幕府開府と同時に徳川家康によって架けられ、翌年には五街道の起点として定められ、やがて日本経済・商業・金融・物流・娯楽の中心地として栄えました。その日本橋から徒歩5分程度のビルとビルの間にある参道を通ると、高層ビルの谷間に大きな朱色の鳥居が見えます。それが今回ご紹介する福德神社です。福德神社（芽吹稲荷）は、平安時代の貞観年間（859〜877年）には既に鎮座していたと云われています。かつて徳川家康も参詣したとされ、2代将軍秀忠が参拝したときに、鳥居に使われていたクヌギの木から芽吹きを見つけた「芽吹稲荷」と名付けたとされています。この故事から「ことはじめ」にご利益があると言われ（日本橋医師会 浜由起子）

また江戸時代に最高額300両という高額な宝くじ（現代でいう宝くじ）の販売が許されていた数少ない神社で、そのことから高額当選を願う人々がお参りに訪れ、金運のご利益があるとされています。宝くじだけでなく、入手困難なライブラリーの当選を願う人の参拝も多く、「推し活」の聖地としてファンの間では大人気のパワースポットです。有名なアーティストのコンサート前には大行列ができることもよくあります。ぜひ金運を上げに福德神社を訪れてください。

（日本橋医師会 浜由起子）



日高山脈

医師国保からのお知らせ

特定健診を受けましょう！

～地域医療を支える皆様の健康が
地域の元気を創ります～40歳～74歳の方へ受診券をお送りしています。
健康保持増進のため、是非受診してください。
健診費用は組合が全額負担します。
従業員や家族への自家健診も可能です。
※人間ドック等健診費用の助成申請との併用はできません。詳しくは当組合ホームページをご覧ください
www.tokyo-ishikokuho.or.jp

東京都医師国民健康保険組合

☎ 03-3270-6434（業務課）

作品募集中
賞金は最大
30万円

医療従事者も応募可能。奮ってご応募願います。

フォト部門

エッセー部門

応募締切

2026年10月2日（金）必着

日本医師会では、第10回生命を見つめるフォト&エッセーの作品募集を始めました。

医療従事者も応募可能となっておりますので、ぜひ、ご応募願います（応募規定などの詳細は公式ホームページをご参照下さい）。

日本医師会広報課

公式
ホームページ

板橋区医師会

坂元 博

足元に咲くものたち

暑い夏の日、汗をぬぐいながら患者さんの足を診ていると、ふと遠い記憶がよみがえることがあります。

むくみや皮膚の色、爪のかたち、靴の跡——そんな小さな変化に目を凝らしていると、子どもの頃、植物と向き合っていたあの夏の日々が静かに重なってくるのです。

我が家では、「夏休みの自由研究は植物採集」と決まっていました。

虫取りに行きたかった私は、しぶしぶ家族と一緒に野山へ出かけ、葉や草花を集めました（こっそり虫取りもしていましたが…）。

図鑑を片手に名前を確かめながら、ビニール袋に入れて持ち帰る。袋の中には、むせかえるような青臭さと、植物独特の香りが混ざり合い、どこか懐かしいにおいが立ちこめていました。

家に戻ると、新聞紙に挟んで押し葉にし、何日か重しをのせて乾かします。

仕上がった葉を台紙に並べ、採集日や場所を書き添えて標本にまとめていく——それが我が家の「夏の決まりごと」でした。

そしてその標本を祖父に見せると、祖父はいつも図鑑を開くこともなく、名前や特徴をさらりと教えてくれました。

子ども心に「どうしてそんなことがわかるんだろう」と、驚きと不思議な尊敬の気持ちを覚えたのを今でも覚えています。

祖父——初島住彦は、植物の研究を生涯続けた人でした。

101歳で亡くなるまで、毎日のように植物の研究を続けていました。

「植物の世界は、知りたいことが山ほどある。死ぬまで研究を続けたい」

そう語っていたことを後に知り、その言葉の通りの人生だったのだと、静かに胸を打たれました。

祖父が80種以上の新種や新変種の記載に関わっていたことも、私は大人になってから知りました。

祖父の書斎には標本箱や手書きのメモが並び、静かに執筆する姿が今も目に浮かびます。

今の私は、在宅医療の現場で、足の診療を専門にしています。

足は、その人の暮らしがもっとも正直に表れる場所です。

植物紹介



ハツシマラン
(*Odontochilus hatusimanus*
Ohwi et T.Koyama)
奄美や西表島の森に咲く、透明感のあるランの仲間。祖父にちなんだ名づけられました。



ハツシマカンアオイ
(*Asarum hatsushimae*)
徳之島の林床にひっそり咲く多年草。ハート形の葉と地味な花が特徴です。

皮膚の乾き方、装具の痕、爪の厚み——細かな違いの中に、その人らしさと日々の積み重ねが現れます。

最近では、爪の形や足の色調、指の並びや柔軟性から、歩き方の癖や負担のかかる部位が自然と見えてくるようになってきました。

構造や動きのわずかな違いが、全身の健康に影響することもあり、その奥深さに日々驚かされます。

祖父が植物を見つめ、分類し、名を与えていったように、私も足の診療を通して、その人の声にならない声を拾い上げ、支える医療を目指しています。

こうして文章を書く機会をいただき、あの夏の植物のにおいと祖父のまなざし、そして今の自分の診療が、一本の線でつながっていたことに気づかされました。

目立たなくても、静かに誰かに届く。

そんな植物のような言葉を、これからも大切に紡いでいけたらと思います。

（『板橋区医師会通報』2025年夏号 No.523より抜粋）

無 声 拝 聴

Sous le ciel de Paris
(パリの空の下)

このタイトルの曲、「パリの空の下」はchanson（シャンソン）でありにも有名なこの解説は要らぬことは思ふが、Edith Piaf, Juliette Gréco, Mireille Mathieu, Yves Montand などの大御所がカバーしており、このように歌い上げているか聞き比べてみるのも興味深い。

このchansonで私が魅かれた理由はそのparoles (lyrics) で「パリの空の下」、少年が歌を作り、恋人たちが歩いている、そして哲学に励む者、ミュージシャンに群がる聴衆、ノートルダム寺院前のもめ事とかがあるけれどセーヌ川はゆっくり流れ、サン＝ルイ島は多くの人が集い、その営みを天が見ており時々雷を落としたりする、でも最後は虹の門を架けてくれる」と、いか「最後はお天道様が見ている」と日本人の考えを彷彿させると感じたからである。

お天道様が見ているのは「東京の空の下」も同じで、お天道様やお釈迦様は必ず見ている、この年になり本気で思えるようになった。正直に生きる、これは患者さんに対して、請求業務に対してなど数々のことが頭をよぎる。人間である以上、欲や良心に背くようなこと、つまりは「ダークサイドに魅せられる自分が一方である」とことを正直に告解し、弱さを恥じる、人間として正直に生きる道ではないか、と確信に近い考えが頭をよぎるのである。

何か迷いが出た時「人間だからそれは当然」と素直に認め、建前で否定するのではなく、誤りを修正することで、閻魔様に舌を抜かれずに済むはずである。このことを忘れかけた時、このchansonを思い出して聞こうと思う。

(山本 純)

動物への対策も求められるSFTS
(重症熱性血小板減少症候群)

SFTS (重症熱性血小板減少症候群; Severe fever with thrombocytopenia syndrome) は、主にマダニが媒介する新興ウイルス感染症で、近年は動物から人への感染経路にも注目が集まっている。これまで西日本を中心に発生していたが、2025年には関東や北海道でも感染例が報告され、国内での拡大が懸念されている。患者発生の約9割はマダニ活動期の4～10月に集中し、日本での致死率は約27%と高い。全患者の約90%が60歳以上、亡くなった患者の多くは50歳以上で、高齢者は重症化しやすい。

SFTSウイルスに対する感受性は動物種によって大きく異なり、多くの哺乳動物は不顕性感染であるがネコ科動物は非常に感受性が高く、重症化しやすい。SFTSウイルスは自然界ではフタトゲチマダニ等が宿主で、マダニ間での垂直感染や野生動物を介した水平感染で維持されている。西日本でのシカやイノシシの抗体陽性率は50%を超えるものもある。野生動物には数百匹のマダニが寄生し、抗体陽性動物に寄生しているマダニ間でも水平感染する。一方で、国内の野良猫や地域猫におけるSFTSウイルスの抗体陽性率は、地域による差はあるものの概ね数%以下で、比較的低い。これは感染した猫は高い確率で死亡してしまうためと考えられる。

猫の致死率は約60%で、発症している猫の血液や体液には多量のウイルスが含まれるため、咬まれたり濃厚接触したりすることで人へ感染し、死亡した事例も報告されている。犬の多くは不顕性感染だが、発症すると致死率は約40%と高く、犬から人への感染例も確認されている。

SFTSは感染症法では四類感染症として全数把握の対象となっているが、現在のところ動物についての届出義務はない。SFTSを発症した犬や猫から人への感染リスクが高いことから、タイムリーなリスク評価や啓発のためにも、犬猫のSFTSを、感染症法に基づく獣医師届出の対象感染症として指定することが望まれる。

(文責：芳賀 猛)

感 染 症 豆 知 識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

都医 HP・E メール

■ ホームページアドレス

<https://www.tokyo.med.or.jp>

■ Eメールアドレス

jimu@tokyo.med.or.jp

事前申込制とさせていただきます

日本医師会生涯教育講座

日時 令和8年8月6日(木)午後2時～5時

オンライン(Webex)のみで開催します

日本医師会生涯教育制度 合計 2 単位
カリキュラムコード 83、0

【申込方法】研修申込システムにて申込

【定 員】200名

【申込締切】令和8年8月5日(水)

【問い合わせ先】

東京都医師会 広報学術課
TEL : 03-3294-8821 (代表)
※詳細は都医ホームページを
ご確認ください

女と男の更年期障害

座長 公益社団法人東京都医師会理事

落 合 和 彦

東京女子医科大学附属東洋医学研究所

所長／教授 木 村 容 子 先生

順天堂大学医学部附属順天堂医院泌尿器科

特任教授 井 手 久 満 先生

更年期女性の

漢方治療について

木村容子先生

更年期女性は、女性ホルモンが減少することで、ホットフラッシュ、動悸、めまい、不眠、イライラなどの症状が出現するが、症状は多彩でかつ程度にも個人差がある。漢方医学では、生命活動を営むエネルギーである「気」、血液を意味する「血」およびリンパ液や汗などの血液以外の体液をあらわす「水」が、カラダの中を滞りなく巡っている状態を「健康」と捉える。気血水の巡りが悪く

なったり、過不足が生じると何らかの不調が起ると考えられる。更年期の症状に関しては、月経と関係のある「血」の異常が起りやすく、「気」がうまく巡らないことでイライラや抑うつ傾向となり、「水」の巡りが滞るとめまいや頭痛などが生じる。各自の症状や体質に合わせた更年期症状の漢方治療について、症例を提示して解説する。

男性更年期…加齢男性医療の
実践的アプローチ

井手久満先生

本講演では、男性更年期障害、すなわち加齢男性性腺機能低下症（LOH症候群）の病態・診断と、プレゼンティズムへの影響を説明する。併せて、テストステロン補充療法（TRT）を軸とする実践的治療戦略を提示し、デジタルヘルスを統合した個別化医療によるQOLおよび労働生産性向上を目指す次世代メンズヘルスケアの実装可能性を述べる。また、食

事・生活習慣介入によるホルモン最適化の意義にも触れ、予防から治療までを一貫して支える包括的アプローチを提示する。

男性の健康課題を個人の問題にとどめず、企業・社会の持続可能性に関わる主題として見直して、臨床と産業保健を架橋する実践知識の共有と今後の展望についてご紹介したい。

主催 東京都医師会

医師と医師会を結ぶ 情報紙

都医NEWS

2026

Vol.
725

地区医師会長からの一言 東京都医師会員の みなさまへのご挨拶

葛飾区医師会長 三尾 仁



令和7年6月に葛飾区医師会長に就任いたしました三尾 仁です。私はいわゆる開業医2世で、母が開業した三尾医院を継承する形で、葛飾区で診療を始めました。医局は聖マリアンナ医科大学の小児科で、専門領域は小児腎臓病です。医局時代は院生であったため、大学の附属病院をいくつかローテートする形で、新生児領域から成人期に至る手前の子ども達の診療を行っておりました。

葛飾区医師会には、医師になった時に母に勧められて入会いたしました。実際に医師会活動に従事したのは、大学を辞して自院に帰って来てからです。そのような中で自宅での診療を開始した直後に阪神・淡路大震災があり、東京都も災害対応の訓練を開始することとなり、葛飾区医師会の中にも災害対策委員会が立ち上げられ、委員として医師会に関わるようになりました。その後、青井会長の2期目の人事で、理事に就任することになりました。当初私は危機管理担当になると思っておりましたが、私に与えられた役職は、公衆衛生担当でした。公衆衛生学は学生時代サボりにサボりまくった領域で、特に苦手な領域でした。当時は、翌年に特定健診の導入を控えており、この導入に向けた作業に従事することが、私と医師会との縁の始まりで、それ以来20年近く働かせていただきました。またこの期間も、災害対策の委員として関わらせていただきました。

このような立場で、私は葛飾区との公衆衛生分野と危機管理の交渉の先頭に立って活動し、新型インフルエンザ・東日本大震災・新型コロナウイルス感染症等、大きな危機管理にも対応してまいりました。これらの大きな問題を乗り越えてこられたのは、葛飾

区医師会員の先生方のご支援と行政の職員の力があったからだと考えております。現在葛飾区医師会では、災害対応の大筋がまとまり、具体的な災害対応のマニュアルがほぼ完成しました。今は、災害時地区医師会として、どのように動くか、またその統制はどのように行うかを、詳細にわたり検討しているところです。その中で現在、会員の先生方の安否確認と災害対応への協力を依頼するツールとして、区と共同で安否確認ツールの普及に努めており、このツールを通じて、個別の会員の先生方の災害時対応の仕方を指示できる体制整備を行っております。また現代は医療のDX化が進んでおりますが、この傾向は必要なこととはいえ、実際にはこの流れに乗り切れない会員もいらっしゃいます。世代交代が進む中で、今後のDX化の進展に対して医師会がどの程度支援できるかは検討すべき課題かと考えております。

私が考える医師会活動の活性化は、平時における会員相互の顔の見える関係を構築することが重要で、さまざまな新しいツールの活用・これまでの医師会員のコミュニケーション(飲みニケーション?)・それぞれの分野の医会活動等を通じて行うべきであり、発展させることが地域医療の活性化につながると考えております。

今は自己中の極みの大統領により世界が掻き乱されている危機状態です。このような危機に遭っても、医療が存続できる強固な対応が求められておりますが、日本の経済状況とのバランスにおいてその舵取りは極めて難しい状態です。地区医師会の苦境が上部医師会に反映され、より良い日本の医療環境が達成されることを願っております。